としょかん★NEWS 10月号

2025.10

発行：恵み野中学校学校図書館　司書　佐藤

みなさんの「秋」はなんでしょうか？

読書の秋の皆さんにお知らせです。

今年の読書週間のテーマは、

「静かだけど、冒険中。」

※この素材は、公益社団法人読書推進運動協議会より提供されています。



めぐ中では12月に読書週間を設定しています。様々な企画を計画しているので12月までお待ちください。現在準備中です。

全国的に10月27日から11月9日まで、読書奨励期間(いろんな本に触れることがおすすめされている期間)として読書週間が設定されているので、めぐ中でもミニ展示をしています。右側に説明があるので、ぜひ学校図書館に見にきてみてくださいね。

ミニ展示「2026年のできごと」

読売写真ニュースを月ごとにまとめて館内の机上に置いています。2026年前半、どんなことがあったか早めに振り返るのもあり？

展示「本のまくら」

その本の最初の一文だけを抜き出して紹介するのを「本のまくら」と言います。直感で選んでみるのも 新しい本との出会いになるかもしれません。読む本に迷ったらぜひご利用ください。

おしらせ

11月4日(木)～11月6日(金)は
学校図書館は休館です。

※蔵書点検といって、本がきちんと貸出処理されているか貸出されていない本がきちんと所定の位置にあるのかを確認する作業をします。

11月2日(月)までに朝読書用の本が必要な人は借りてください。

裏に新刊案内あり！

10月の新刊(28日貸出開始)

	タイトル	巻	著　者	出版社
その他	こども道路交通法		山崎聡一郎	Art&Art
	通信制高校		木村由香里	ぺりかん社
	おい点P、動くんじゃねえ！ニガテ民のための算数と数学の本		とけいまわり	晶文社
	エンタメお仕事図鑑		エンタメおしごと研究会編	サンクチュアリ出版
	さくらももこのことばと人生		さくらプロダクション監修	ポプラ社
	中高生のための詩のつくりかた		久谷雉監修	メイツ出版
	学校を休んだ日は本をひらいて		清繭子	主婦と生活社
文学	小説葬送のフリーレン	2~5	時海結以	小学館
	俺たちの箱根駅伝	上、下	池井戸潤	文藝春秋
	魔法律学校の麗人執事	1、2	新川帆立	幻冬社
	メイクアガール		池田明季哉	KADOKAWA
	夜想い		住野よる	双葉社
	仮面山荘殺人事件 新装版		東野圭吾	講談社
	スピノザの診察室		夏川草介	水鈴社
	エピクロスの処方箋		夏川草介	水鈴社
	ハヤブサ消防団　森へつづく道		池井戸潤	集英社
	風の港		村山早紀	徳間書店
	私が最後に遺した歌		一条岬	KADOKAWA
	君が最後に遺した歌		一条岬	KADOKAWA
	ラーメン山猫　本日も接客一番！		アンギャマン・郁島青典	集英社
	ハナタバ		此見えこ	KADOKAWA
	クリオネのしっぽ		長崎夏海	KODANSHA
	月の辞書を編む		真介	文芸社
	気づいた瞬間、ゾッとする話		鍵谷端哉	アルファポリス
	教科書名短篇　少年時代		ヘッセ　ほか	中央公論新社
	教科書名短篇　家族の時間		芥川龍之介　ほか	中央公論新社
	ナカスイ！　海なし県水産高校	1、2	村崎なぎこ	祥伝社
	これが最後のおたよりです		近藤史恵　ほか	ポプラ社
	ブラックボックス、誰が解く？		青柳碧人　ほか	KADOKAWA
	沖晴くんは死神と笑う		額賀澪	双葉社
	あの日のチョコレート～スキートな５つの欠片～		凪良ゆう　ほか	白泉社
	真昼にも星が光ると知ったのは		梨屋アリエ	ポプラ社
	はじまりのスープ、夏ゼリー		瀬尾まいこ	新潮社
絵本	字のないはがき		角田光代・文	小学館

ちびまる子ちゃんの作者であるさくらももこの人生。するどい感性とユーモアで人を楽しませる漫画家の生きかたを知ろ

1巻のみ入っていましたが、続刊をいれてみました。

ドラマ化している池井戸潤の本。年末年始の箱根駅伝もこれを読むと見方も変わるかも！？

雄町哲郎は京都の町中の地域病院で働く内科医である。最愛の妹が若くしてこの世を去り、一人残された甥の龍之介と暮らすためにその職を得たが、かつては大学病院で数々の難手術を成功させ、将来を

新刊はひとり2冊までの貸出です。一度の予約も2件までとなります。注意してくださいね！

教科書に掲載されている文学に触れてみよう。知っている